

## 地域おこし協力隊の活用事業について

### 1 目的

人口減少・少子高齢化の進行が著しい地域において、担い手の減少に伴う地域の活力低下が懸念される中、地域の住民や団体、事業者などと一緒になって、特色ある資源（自然、歴史、文化、農水産物などの特産品等）を生かした地域の活性化や地域課題の解決に取り組む意欲のある都市地域の住民を、「地域おこし協力隊員」として受け入れ、新たな視点や若い世代の行動力により地域力の更なる向上を図るものです。

### 2 事業概要

地方公共団体が都市地域の住民を受け入れ、「地域おこし協力隊員」として委嘱して、地域おこしの支援や住民の生活支援、農林水産業の応援などの各種地域協力活動に従事しながら、その地域への定住・定着を図る取組です。

### 3 国の支援

- 隊員の活動等に要する地方公共団体負担経費への財政支援（特別交付税により措置、最長3年）
  - ・活動に要する経費 隊員1名につき上限400万円（報酬等200万円，活動費200万円）
  - ・募集に要する経費 1自治体当たり上限200万円

#### 4 これまでの呉市の取組

本市においては、平成27年度以降、市内の過疎地域へ「地域おこし協力隊員」の配置をしました。

- 平成27年度：2名配置（下蒲刈・豊各1名）
  - 平成28年度：2名配置（蒲刈・豊浜各1名）  
（※蒲刈地区は1年で任期終了）
  - 平成29年度：2名配置（倉橋）
- 取組の成果
- ・とびしマーレの開催
  - ・レモンレシピの作成
  - ・レンタサイクル事業 など

地区名等		実施年度		
		27	28	29
市内過疎地域	下蒲刈地区（1名）	1年目	2年目	3年目
	蒲刈地区（1名）		1年目	（欠員）
	豊浜地区（1名）		1年目	2年目
	豊地区（1名）	1年目	2年目	3年目
	倉橋地区（2名）			1年目
隊員数計		2名	4名	5名

#### 5 今後の取組

これまで配置した隊員の3年間の任期が満了する地区（下蒲刈・豊）及び、欠員が生じている地区（蒲刈）において、取組の成果の定着を図るため、隊員の募集を行います。

また、安浦地区において、野呂山周辺の農産物等のブランド化に対応する隊員の募集を行います。

なお、当該地区は過疎地域に指定されていませんが、本市の最東部に位置し、農業集落などが点在しており、過疎地域と同様、農・水産業の担い手が不足している地域特性があることから、特別に募集を行うものです。

## 6 全国及び県内の受入れ状況

○全国（平成28年度特別交付税算定調査11月時点）

・ 隊員数3,978名（受入れ地方公共団体数 都道府県：11府県，市町村：875団体）

○県内（平成28年度特別交付税算定調査11月時点）

市名	H26	H27	H28	市名	H26	H27	H28	町名	H26	H27	H28
広島市	0	3	4	三次市	0	3	9	安芸太田町	8	11	12
呉市	0	2	4	庄原市	4	6	10	北広島町	0	0	3
福山市	0	3	3	東広島市	0	0	4	大崎上島町	0	2	3
竹原市	2	2	2	廿日市市	1	2	2	世羅町	0	0	1
三原市	1	3	3	安芸高田市	0	6	9	神石高原町	5	7	4
尾道市	0	0	1	江田島市	0	0	4				
府中市	2	3	4	市計	10	33	59	町計	13	20	23
								市町計	23	53	82